

ほっかいどうファミリーキャンプ

ドッカーン！親子キャンプ

1, 趣 旨

北海道家庭教育サポート提携企業の親子を対象に、自然とふれあう野外活動をとおして、家族間の交流や親子の絆を深めるとともに生活リズムについて考える機会とする。

2, 期 日

平成 26 年 8 月 2 日（土）～3 日（日）1 泊 2 日

3, 主 催・実施場所

北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル森

4, 参加対象

10 組 40 人

●参加申込み 17 家族 50 名

子ども年齢

	3歳	4歳	5歳	小1	小2	小3	小4	小5	小6	計
男	1	2	0	3	5	1	1	0	2	15
女	0	0	2	5	1	0	1	1	0	10
計	1	2	2	8	6	1	2	1	2	25

男	12
女	13
計	25

保護者

男	4
女	1
計	5

ボランティア

5, 参加実績

*過去親子事業参加者 3 家族

*新規参加者 12 家族

※当日参加者 15 家族 46 名・ボランティア 7 名

6, プログラム内容

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
8月2日	受付開始12:30							受付	開 会 式	な 仲 ろ 良 く	テ ン ト を た て よ う	アウトドアクッキングに挑戦！ ダッチオープンで作ろう♪ (ローストチキン他)			入 浴	大人のまったり タイム？	就寝
8月3日	起 床	簡単！ 野外で 朝ご飯	活 動 準 備	自然の中で みんなで 遊ぼう！	テ ン ト を 片 付 け よ う	開 会 式	解散11:45～		*荒天時はプログラムが変更になる場合があります。 *荒天時は、館内での宿泊になる場合があります。 →【子ども】研修室にテントをたてて宿泊体験 【おとな】宿舎にて相部屋での宿泊								

7, 活動の様子

1 日目は開会式後、アイスペイクを実施。参加者同士の交流を深めた。その後、家族ごとに今晚宿泊するテントを設置。どの家族も慣れない手つきで苦労しながらも、職員やボランティアのアドバイスを受け、協力しながらテントを立てた。設置後は、家族で力を合わせ、ダッチオープンを使った野外炊事に取組み、特製の「ローストチキン作り」に挑戦。家族で協力しながら、火おこしや調理を行った。「コンソメライス」づくりも、飯盒炊事という形で行った。でき上がったローストチキンからは、いい匂いが漂い、どの家族からも笑顔があふれていた。コンソメライスもうまく炊き上がり、家族みんなで「いただきます」。みんな楽しく食べていた。参加者からは、「食べて一番目の「おいしい！」の瞬間は忘れられない笑顔になりました。」「家では手伝いしないのに、進んでやってくれた。」「子どもと一緒に楽しくできて良かったです。」との声が聞かれた。

夜は、子どもと大人に分かれて、「大人のまったりタイム」「子どもの星空観察会」を実施。子どもたちは、職員の誘導でナイトウォークと星空ウォッチングを行った。その間、親はテントサイト前に集まり、火を囲んで、家族間での情報交流を行った。参加者からは、「子どもと離れ、情報交流会として良かった。」「星空大変綺麗でした。なかなか普段あんなにじっくり



星空を眺めることがなかったので満足です。」「子どもの想像力を感しました。」との感想があがった。

2日目は、家族毎に「ロコモコ丼」を作り、おいしく食べた。その後は、寝袋などのキャンプで使用した用具を家族全員で片付けた。最後のプログラムとして、家族単位で「ネイチャービンゴ」をネイパル周辺のフィールドで行った。暑い中ではあったが、「暑さも忘れて探していました。ゆっくりと自然観察をすることができました。」という参加者の声もあるように、どの家族も協力して取組み、楽しみながら自然と触れあう姿が見られた。参加した親子からは、「キャンプ体験は、宿泊・調理など小1の娘にとって初めての体験でした。また、鳥のローストチキンなどダイナミックな調理方法など未経験だったのでタメになりました。コンソメライスも簡単でとても美味しかったです。家でもやってみたいと思います!」「初体験のテント生活、とても楽しそうでした。参加中家族みんな、ずっと笑顔でした。」との声があり、キャンプの醍醐味を味わえたようだ。閉会式では、阿部所長の挨拶とボランティアからの感想が述べられ、2日間の親子キャンプの素晴らしさや野外活動の良さを実感するひとときとなった。どの家族も、笑顔いっぱい会場を後にした。

8、参加者の声

(以下アンケートより抜粋)

- ・初体験のテント生活、とても楽しそうでした。参加中家族みんな、ずっと笑顔でした。
- ・星空大変綺麗でした。なかなか普段あんなにじっくり星空を眺めることがなかったので満足です。子どもの想像力を感しました。

9、事業の分析と考察

本事業の趣旨が「北海道家庭教育サポート提携企業の親子を対象に、自然とふれあう野外活動をととして、家族間の交流や親子の絆を深めるとともに生活リズムについて考える機会とする。」である。テントでの宿泊や野外炊事体験、星空観察、親子でのネイチャーゲームと野外活動中心のプログラムを実施した。はじめて親子でキャンプをするという方に野外活動の面白さや、「やってみたらできた。またやってみよう」と感じてもらえるように、テント設営や野外炊事は、「子どもが手伝いやすい」ということがメインにプログラムが構成された。参加する親子は、15家族46名。その中の13家族が親子でのキャンプは、本事業が初めてであった。そのため、テント張りや野外炊事等、様々な場面でボランティアが活動をサポートした。今回、7名のボランティアが集まり、テント設置に関する研修等を事前に実施。事業本番は、ボランティアが参加者のテント設営のサポートに入り、スムーズに運営することができた。参加者が、この事業の参加した一番の決めてについては、「チラシのイラストに惹き付けられた。」「料金の安さ」「設備・道具がネイパル森に揃っているため、自分たちで準備しなくてもよいことに魅力を感じて参加した。」との声が多かった。一方で、「キャンプの道具はすべて貸して頂けるとはわかっていましたが、道具の記載があればもっと安心できました。」という声も挙がったことから、キャンプ道具持ち込み不要ということをもっとわかりやすくする工夫が求められる。実際のプログラム内容に関して参加者からは、今回のキャンプで、お家では見られないお子さんの様子がありましたらお聞かせください。」というアンケートの回答では、「テント張りや調理の準備をよくしてくれた。」「家ではあまりしないお手伝いを、自らなんでもやりたがっていました。」という声が多くあがった。早寝早起き朝ごはんを大切に、22時には就寝、翌日6:30に起床し、「早寝早起き朝ごはん体操」を実施した。これらについて参加者は、「良い習慣が身につくと思います。」「今回のキャンプ体験で、外での活動も多く、夜はぐっすり眠り、また朝食もしっかり取ることができて、健康的な生活でした。」と規則正しい生活リズムや朝食を食べる大切さを改めて感じていた。そして、自然と触れあう野外活動に関しては、「星空大変綺麗でした。なかなか普段あんなにじっくり星空を眺めることがなかったので満足です。子どもの想像力を感しました。」「知らない植物がたくさんありますね。気がつきました。子どもは全部探すんだ!と、とても楽しそうでした。」という声があがった。以上のことから、ゆとりあるプログラムにすることで、本事業が自然とゆっくり触れ合い、その中で親子の交流を深められたのではないかと思う。



10、成果と課題



○成果

- ・テント部品チェックや設営に関する研修を職員・ボランティアが事前に行ったことで当日スムーズに運営することができた。
- ・ゆとりあるプログラムにすることで、自然とゆっくり触れ合い、その中で親子の交流を深めることができた。

▼課題

- ・キャンプ道具の持ち込み不要というのが、もっとわかりやすいと安心できたとの声があがった。来年度はこのことを伝わりやすくする工夫を行う必要がある。